

# 施策評価調書(内部評価結果)

整理番号 **34**

■ 総合計画(後期基本計画)

政策名	VI うるおい安全都市
施策名	⑥ 上下水道の整備

所管部局	所管部局長の氏名
建設部	川戸 孝和
上下水道部	中西 和義

1 関連する個別計画 **PLAN**

個別計画名称	計画概要	計画年次	計画期間	備考
京丹後市水道事業基本計画	平成28年に予定している上水道事業と簡易水道事業の経営統合を見据えて事業の現状分析を行い、安定給水に資する施設整備計画及び収支計画を策定した。	平成22年3月	平成22年度～平成35年度	平成25年度計画見直し予定
京丹後市水洗化計画	効率的な事業の推進と公共用水域の水質保全、更には生活環境の改善を目的として平成18年9月に策定した「市水洗化計画」について、人口の減少、財政状況、国が定める経済比較に使用する費用関数と耐用年数の見直し、住民の意向を考慮した処理区の設定、水洗化普及率の早期向上等を踏まえ、新たな計画を策定した。	平成22年3月	平成22年度～平成32年度	平成26年度計画見直し予定

2 施策目的

優先順位	現状においてどのような問題や課題があるか(何のために)	『何を対象に』『どのようなことを行うこと(又はどのような手段で)』	どのような状態にしたいのか	関連する施策方針
1	水道施設の老朽化が進んでいることから	計画的な施設更新や修繕の実施により	水道水の安定給水を確保する。	1 地域水道ビジョンの策定 2 水道施設の統合整備
2	公共用水域の水質汚濁が問題となっており、また、生活環境の改善が課題となっていることから	汚水処理施設の整備及び水洗化の普及を進めることにより	快適な市民生活の実現と公共用水域の水質保全を図る。	3 水洗化の推進 4 下水道整備事業の推進および都市下水路の整備促進
3	網野浅茂川地区の市街地において豪雨時に家屋浸水被害が発生していることから	河川改修事業に併せて内水処理施設を整備することにより	道路冠水及び家屋浸水被害の低減を図る。	4 下水道整備事業の推進および都市下水路の整備促進

3 目標値など

総合計画	めざす目標	指標名	総合計画作成時(H17)		後期基本計画作成時(H20)		直近年度実績値(現状)		目標(H26)	
			年度	年度	年度	年度	年度	年度		
	安全でおいしい水を安定給水します	老朽管延長(上水道)	32.7km	H17	30.2km	H20	9.9km	H24	4.5km	H26
		老朽管延長(簡易水道)	46.4km	H17	43.2km	H20	19.9km	H24	14.5km	H26
	汚水処理施設の普及を進めます	水洗化普及率	47.5%	H17	56%	H20	69.3%	H24	75.0%	H26
	内水(浸水処理)対策を進めます	網野町網野・浅茂川地区203.6haの浸水対策達成率	新規	-	49.7%	H20	63.3%	H24	63.3%	H26

個別計画	個別計画名称	指標名	説明・備考	計画策定時	直近年度実績値(現状)		目標	
					年度	年度	年度	年度
	なし							

4 構成事務事業・評価結果一覧

**DO**

**CHECK**

施策方針	事務事業 事業内容(実績)	担当課	予算額(単位:千円)		事務事業の概要							施策評価結果					
			H24決算額	H25予算額(一般財源)	根拠法令	財政負担	単独事業	事業種別	対象	実施手法	関与必要性 数値 説明	施策目的	施策貢献度	今後の方向性			
1 地域水道ビジョンの策定	地域水道ビジョンで策定を求められている現状分析(経営、施設)及び整備計画等は平成21年度に策定した京丹後市水道事業基本計画で策定済み。また、その他の項目については平成25年度に予定している基本計画の見直しの中で実施予定。																
2 水道施設の統合整備	1 水道事業	水道整備課	731,742	701,341(606,299)	国規定	単費	○	施設整備	市民	直・委	7	生活維持確保	1	S	現状維持		
	2 簡易水道事業【明許繰越】	水道整備課	25,069	114,792(4,772)	国規定	国・一部	-	施設整備	市民	直・委	7	生活維持確保	1	S	現状維持		
	3 簡易水道事業	水道整備課	438,485	1,087,030(224,981)	国規定	国・一部	-	施設整備	市民	直・委	7	生活維持確保	1	S	現状維持		
3 水洗化の推進	1 公共下水道事業(下水道啓発事業)	普及推進・料金課	4,633	4,833	市規定	単費	○	サービス	市民	直・補	7	生活維持確保	2	S	現状維持		
	2 水洗化推進支援事業	普及推進・料金課	12,850	29,500(29,500)	市規定	単費	○	サービス	市民	補	4	民間補完福祉増進	2	A	拡大		
4 下水道整備事業の推進および都市下水路の整備促進	1 内水処理対策事業【明許繰越】	土木課	20,000	-	義務	国・一部	-	施設整備	市民	委	7	生活維持確保	3	S	拡大		
	2 内水処理対策事業	土木課	113,262	116,857(2,057)	義務	国・一部	含む	施設整備	市民	委	7	生活維持確保	3	S	拡大		
	3 内水処理対策事業【明許繰越】	土木課	-	30,000													
	4 都市下水路維持整備事業	都市計画・建築住宅課	16,901	18,972(18,972)	義務	単費	○	-	-	-	-	-	3	A	拡大		
	5 集落排水事業	下水道整備課	111,229	147,124(105,524)	国規定	国・一部	-	施設整備	市民	直・委	7	生活維持確保	2	S	現状維持		
	6 公共下水道事業【明許繰越】	下水道整備課	201,797	495,101(2,702)	国規定	国・一部	-	施設整備	市民	直・委	7	生活維持確保	2	S	現状維持		
	7 公共下水道事業	下水道整備課	871,367	1,376,491(368,191)	国規定	国・一部	-	施設整備	市民	直・委	7	生活維持確保	2	S	現状維持		
	8 浄化槽整備事業	下水道整備課	156,709	183,529(86,843)	国規定	国・一部	-	施設整備	市民	直・委	7	生活維持確保	2	S	拡大		
	9 浄化槽設置整備事業	下水道整備課	4,708	5,649(2,975)	国規定	国・一部	-	サービス	市民	補・負	7	生活維持確保	2	A	縮小		
	計		2,708,752	4,311,219(1,452,816)													

5. 歳出抑制の考え方について

**ACT**

施策における歳出抑制の考え方	No.	歳出抑制の考え方 (平成26～28年度までの3か年で取り組む歳出抑制)	一般財源抑制見込額 (単位:千円)	補完・代替措置などがある場合は、その内容
	2	公共下水道整備事業の早期完了及び早期接続推進に努め、浄化槽設置補助金・水洗化推進補助金の削減を図る。	期間中の費用の削減は見込めない	

予算科目				水道事業会計
事業名	水道事業			
総合計画	基本方針	Ⅵ うるおい安全都市	計画項目	⑥ 上下水道の整備
決算額	①	最終予算額	②	不用額 (②-①)
731,742千円		1,124,436千円		392,694千円
			執行率	(参考) 当初予算額
			65.0 %	701,341千円
目的	上水道給水区域に安心安全な水道水を安定的に供給する。			
主要な事務・事業及び成果の概要	<p>平成24年度末現在給水人口 31,398人、年間総有収水量 3,385,708m<sup>3</sup> (1.2%減) となった。</p> <p>○水道水を作り各家庭へ送るための費用 167,352千円</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>浄水場の運転、管理など水道水を作るための費用 147,987千円</li> <li>配水池や配水管の管理など水道水を各家庭へ届けるための費用 19,365千円</li> </ul> <p>○浄水場の改良工事や配水管の新設や布設替の工事費等 564,390千円</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>上水道統合事業 490,603千円 善王寺浄水場と大野池浄水場の統合、荒木野浄水場の新水源の整備、掛津配水池の移転改良</li> <li>老朽管布設替事業 30,528千円 老朽管(石綿管) 年度末延長: 9.9km (前年度比0.6km、6.0%減)</li> <li>その他配水管布設工事等 43,259千円</li> </ul>			
主な財源	市債	企業債		218,200千円
	繰入金	一般会計出資金		218,200千円
	繰入金	消火栓維持管理等負担金		6,782千円
	諸収入	配水池移転補償金		49,120千円
	分担金	加入金		5,895千円
	使用料	水道使用料		233,545千円
評価・課題等	<p>○新善王寺浄水場が完成し大宮町内の安定供給ができるようになった。</p> <p>○老朽管の更新が進んだことにより、安心安全な水道水が安定供給できるようになった。</p> <p>○水道料金収入が減少しているため、施設の統合や維持管理費の節減により、コスト削減に努めていく必要がある。</p>			
事業所管課	上下水道部/水道整備課			

予算科目	02施設費			簡易水道事業特別会計	
事業名	簡易水道事業【明許繰越】				
総合計画	基本方針	Ⅵ うるおい安全都市	計画項目	⑥ 上下水道の整備	
決算額 ①		最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率	(参考) 当初予算額
25,069千円		37,229千円	12,160千円	67.3 %	37,229千円
目的	簡易水道給水地域に安全安心な水道水を安定的に供給する。				
主要な事務・事業及び成果の概要	平成24年度末現在給水人口 25,054人、年間総有収水量2,770,681 m <sup>3</sup> (2.0%減) となった。				
	○水道管の移設や浄水場施設の改良などの工事				25,069 千円
	浄水場用地分筆登記業務委託料				177 千円
	佐野甲水道管布設工事 L=1,830.1m				20,476 千円
	道路工事に伴う配水管移設・布設替工事 L=41.0m				4,416 千円
主な財源	市債	企業債	19,800千円		
	国補	久美浜東部簡易水道統合事業費補助金(1/4)	5,119千円		
評価・課題等	<p>○簡易水道施設の整備、維持管理を行ったことにより、簡易水道給水地域に安全安心な水道水を安定的に供給することができた。</p> <p>○水道料金収入が減少しているため、施設の統合や維持管理費の節減により、コスト削減に努めていく必要がある。</p>				
事業所管課		上下水道部/水道整備課			

予算科目	02施設費			簡易水道事業特別会計
事業名	簡易水道事業			
総合計画	基本方針	Ⅵ うるおい安全都市	計画項目	⑥ 上下水道の整備
決算額	①	最終予算額	②	不用額 (②-①)
438,485千円		553,998千円		115,513千円
			執行率	(参考) 当初予算額
			79.1 %	707,482千円
目的	簡易水道給水地域に安全安心な水道水を安定的に供給する。			
主要な事務・事業及び成果の概要	<p>平成24年度末現在給水人口 25,054人、年間総有収水量2,770,681 m<sup>3</sup> (2.0%減) となった。</p> <p>○水道水を作り各家庭へ送るための費用 186,852 千円</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・浄水場の運転、管理など水道水を作るための費用 154,260 千円</li> <li>・配水池や配水管の管理など水道水を各家庭へ届けるための費用 32,592 千円</li> </ul> <p>○水道管の移設や浄水場施設の改良などの工事 12,080 千円</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>管路施設設計・土質調査業務委託料 2,266 千円</li> <li>道路・橋梁工事に伴う配水管移設・布設替工事 L=630.8m 9,814 千円</li> </ul> <p>○簡易水道統合による施設整備関連経費 239,553 千円</p> <p>(1)久美浜東部簡易水道事業 9,806 千円</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>佐野乙配水池調査登記業務委託料</li> <li>佐野甲舗装復旧工事</li> <li>佐野甲配水管布設・仮設配管撤去工事</li> <li>布設 L=7.4m、撤去 L=550.6m</li> </ul> <p>(2)久美浜西部簡易水道事業 176,838 千円</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>神谷地区測量・設計業務委託料</li> <li>河梨・口馬地・奥馬地水道管布設工事 L=2,668.9m</li> <li>神谷配水池新設工事 一式</li> <li>神谷浄水場用地購入費</li> </ul> <p>(3)久美浜北部簡易水道事業 51,747 千円</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>湊地区導水管布設工事 L=2,784.9m</li> <li>湊第8水源築造工事 一式</li> </ul> <p>上記事業施行に伴う事務費 1,162 千円</p>			
主な財源	市債	企業債		197,600千円
	繰入金	一般会計繰入金		76,639千円
	国補	久美浜東部・西部・北部簡易水道統合事業費補助金(1/3~1/4)		66,379千円
	諸収入	国・府道改良工事に係る府移転補償金等		4,613千円
	分担金	加入金		1,903千円
	使用料	水道使用料		91,351千円
評価・課題等	<p>○簡易水道施設の整備、維持管理を行ったことにより、簡易水道給水地域に安全安心な水道水を安定的に供給することができた。</p> <p>○水道料金収入が減少しているため、施設の統合や維持管理費の節減により、コスト削減に努めていく必要がある。</p>			
事業所管課	上下水道部/水道整備課			

予算科目	01総務費	01総務管理費	01一般管理費	公共下水道事業特別会計	
事業名	02 公共下水道事業（下水道啓発事業）				
総合計画	基本方針	Ⅵ うるおい安全都市	計画項目	⑥ 上下水道の整備	
決算額 ①		最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率	(参考) 当初予算額
4,633千円		4,702千円	69千円	98.5%	4,833千円
目的	下水道事業の普及とそれに対する市民の理解を深めることにより円滑な事業運営を確保する。				
主要な事務・事業及び成果の概要	<p>○ 普及推進員</p> <p>供用開始区域内の下水道未接続世帯に対し戸別訪問を行い、下水道等の必要性を訴えるなど早期接続の啓発を行うとともに、下水道事業に対するアンケート調査を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・普及推進員報酬（2人×12か月） 3,204千円</li> <li>・社会保険料、雇用保険料（2人×12か月） 507千円</li> <li>・費用弁償（1人×12か月） 69千円</li> <li>・燃料費等 213千円</li> <li>・保険料（自動車損害保険料 2台） 34千円</li> <li>・自動車借上料（普及推進用 2台×12か月） 510千円</li> </ul> <p>&lt;活動実績&gt;</p> <p>訪問件数： 4,236件（内 面談：1,932件、アンケート回収：325件）</p> <p>訪問地区： 公共下水道区域（峰山・網野）</p> <p style="padding-left: 20px;">特定環境保全公共下水道区域（大宮・網野・丹後・久美浜）</p> <p>○ 下水道接続推進事業利子補給金</p> <p>既存住宅を新規に下水道に接続し、その工事費の支払いのために金融機関から融資を受けた者に対し、支払利子の一部を利子補給金として交付した。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・下水道接続推進事業利子補給金 96千円</li> <li style="padding-left: 20px;">（公共下水道区域 3件、特定環境保全公共下水道区域 3件）</li> </ul>				
主な財源					
評価・課題等	<p>○普及推進員の戸別訪問により下水道に対する理解が深められたとともに、下水道等への接続促進が図られた。</p> <p>○利子補給金により借入金の利子の一部を補給することで、経済的な理由で下水道等への接続が困難な方の負担を軽減し、下水道等への接続促進に寄与することができた。</p> <p>○供用開始区域が拡大する中、今後も水洗化の向上に向けて計画的な戸別訪問による啓発を進めていく必要がある。</p>				
事業所管課	上下水道部／普及推進・料金課				

予算科目	04衛生費	01保健衛生費	07環境衛生費	14水洗化推進支援事業		
細事業名	01 水洗化推進支援事業				決算書	P.178
総合計画	基本方針	VI うるおい安全都市		計画項目	⑥ 上下水道の整備	
決算額 ①		最終予算額 ②		不用額 (②-①)	執行率	(参考) 当初予算額
12,850千円		15,000千円		2,150千円	85.6%	15,000千円

目的 新規に既存住宅の排水設備工事を行う者に対して補助金を交付することにより、既存住宅の水洗化の促進及び地域経済の活性化を図る。

主要な事務・事業及び成果の概要

公共下水道事業・集落排水事業・市設置型浄化槽整備事業の区域内で新たに下水道に接続するための排水設備工事を、市内業者を利用して行った場合に、その工事費用の一部を補助。補助上限額50千円（平成23年3月31日までに完了した工事分の補助額は従前のとおり）

平成24年度 補助金交付実績 (単位：件)

	公共下水道事業		集落排水事業		浄化槽事業	合計
	公共	特環	農排	漁排		
峰山	66				10	76
大宮		22	2		5	29
網野	29	5			6	40
丹後		10			6	16
弥栄			5			5
久美浜		42	29		24	95
合計	95	79	36	0	51	261

	交付件数	補助金額	補助総額
平成22年度以前分	10 件 ×	30 千円	300 千円
平成23・24年度分	251 件 ×	50 千円	12,550 千円
		合計	12,850 千円

主な財源

評価・課題等

○平成24年度の下水道等新規接続件数は433件であり、平成23年度接続件数（414件）より増加し、補助制度は一定の効果があった。  
○下水道等への新規接続工事には、高額な費用が掛かり、接続推進のアンケートにおいても補助制度の充実・拡大等の要望が多く寄せられていたことから、平成25年度から制度の拡充を図った。今後も制度の見直しも含め水洗化の向上に向けて努めていく必要がある。

事業所管課 上下水道部／普及推進・料金課

予算科目	08土木費	04都市計画費	02都市下水路費	02内水処理対策事業			
細事業名	01 内水処理対策事業（繰越）					決算書	P.272
総合計画	基本方針	VI うるおい安全都市		計画項目	⑥ 上下水道の整備		
決算額 ①		最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率	(参考) 当初予算額		
20,000千円		20,000千円	0千円	100.0%	20,000千円		
目的	網野町浅茂川地区において、社会資本整備総合交付金を活用し、公共下水道浸水対策事業を実施することにより、内水による浸水被害の発生を未然に防止する。						
主要な事務・事業及び成果の概要	<p>平成23年度から繰越した雨水ポンプ場建設工事を日本下水道事業団へ委託して実施した。</p> <p>○委託料 20,000千円</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・内ヶ森第2雨水ポンプ場建設工事委託</li> <li>電気棟工事、機械電気設備工事</li> </ul>						
主な財源	国補	浸水対策下水道事業費補助金（1/2）				10,000千円	
	市債	都市下水路整備事業債（合併特例債）				9,500千円	
評価・課題等	<p>○施設整備について、計画どおり進捗している。</p> <p>○網野町浅茂川地区においては、毎年浸水被害が発生しており、福田川の改修による内水についての被害も懸念されている。そのため、早期に被害の軽減を図る必要があり、事業の計画的な執行及び施設の早期完成が必要である。</p>						
事業所管課		建設部／土木課					

予算科目	08土木費	04都市計画費	02都市下水路費	02内水処理対策事業				
細事業名	01 内水処理対策事業			決算書 P.272				
総合計画	基本方針	Ⅵ うるおい安全都市	計画項目	⑥ 上下水道の整備				
決算額 ①		最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率 (参考) 当初予算額				
113,262千円		143,312千円	30,050千円	79.0 % 167,812千円				
目的	網野町浅茂川地区において、社会資本整備総合交付金を活用し、公共下水道浸水対策事業を実施することにより、内水による浸水被害の発生を未然に防止する。							
主要な事務・事業及び成果の概要	<p>網野町浅茂川地区の浸水対策として、内ヶ森第2雨水ポンプ場建設工事を日本下水道事業団へ委託して実施した。</p> <p>○委託料 112,500千円  建設工事：内ヶ森第2雨水ポンプ場  建設工事（機械・電気設備工事、場内整備工事）</p> <p>○事務費 762千円  普通旅費、消耗品費、燃料費、印刷機借上料、自動車借上料</p>							
	<table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr> <td rowspan="2">参 考</td> <td>繰越明許費を除いた最終予算額</td> <td>113,312千円</td> </tr> <tr> <td>実質的な予算執行率</td> <td>99.9 %</td> </tr> </table> <p>■平成25年度への繰越事業 30,000千円  ・内ヶ森第1雨水ポンプ場詳細設計 平成26年3月完成予定</p>				参 考	繰越明許費を除いた最終予算額	113,312千円	実質的な予算執行率
参 考	繰越明許費を除いた最終予算額	113,312千円						
	実質的な予算執行率	99.9 %						
主な財源	国補	浸水対策下水道事業費補助金（1/2）	52,500千円					
	市債	都市下水路整備事業債（合併特例債）	57,700千円					
評価・課題等	<p>○施設整備について、計画どおり進捗している。</p> <p>○網野町浅茂川地区においては、毎年浸水被害が発生しており、福田川の改修による内水についての被害も懸念されている。そのため、早期に被害の軽減を図る必要があり、事業の計画的な執行及び施設の早期完成が必要である。</p>							
事業所管課		建設部／土木課						

予算科目	08土木費	04都市計画費	02都市下水路費	01都市下水路維持整備事業	
細事業名	01 都市下水路維持整備事業				決算書 P.270
総合計画	基本方針	VI うるおい安全都市	計画項目	⑥ 上下水道の整備	
決算額 ①		最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率	(参考) 当初予算額
16,901千円		16,964千円	63千円	99.6%	18,259千円
目的	峰山・網野都市下水路施設の維持管理を行い、住宅等への浸水被害を低減する。				
主要な事務・事業及び成果の概要	<p>網野都市下水路のポンプ施設等の修繕及び点検を実施するとともに、峰山・網野都市下水路（風呂川・小栓川）の護岸維持工事を実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○網野都市下水路ポンプ施設光熱費等 3,176千円</li> <li>○網野都市下水路ポンプ施設等修繕料 2,038千円</li> <li>○網野都市下水路ポンプ施設警報装置通信料等 221千円</li> <li>○委託料 6,497千円 <ul style="list-style-type: none"> <li>網野都市下水路自家用電気工作物保安管理業務 294千円</li> <li>網野都市下水路機械設備等点検業務 2,310千円</li> <li>網野都市下水路堆積土除去業務 3,710千円</li> <li>ごみ撤去委託料（風呂川・小栓川） 74千円</li> <li>浅茂川ポンプ場制御プログラム設定変更業務 109千円</li> </ul> </li> <li>○網野都市下水路（小栓川）用地賃借料 10千円</li> <li>○工事請負費 4,767千円 <ul style="list-style-type: none"> <li>風呂川維持工事（浚渫、底打ちコンクリート） 1,219千円</li> <li>小栓川維持工事（浚渫、護岸根継ぎ工事） 3,548千円</li> </ul> </li> <li>○網野都市下水路ポンプ場備品購入費 192千円 <ul style="list-style-type: none"> <li>消火器（2本）、無停電電源装置（2台）</li> </ul> </li> </ul>				
主な財源	使用料 都市下水路占用料				105千円
評価・課題等	<p>○施設を適切に維持管理することにより、浸水被害の低減に貢献することができた。</p> <p>○網野都市下水路の浅茂川排水ポンプ場は、施設整備後10年以上が経過しており、ポンプ設備を計画的に修繕していく必要がある。</p>				
事業所管課	建設部／都市計画・建築住宅課				

予算科目				集落排水事業特別会計
事業名	集落排水事業			
総合計画	基本方針	Ⅵ うるおい安全都市	計画項目	⑥ 上下水道の整備
決算額	①	最終予算額	②	不用額 (②-①)
111,229千円		112,601千円		1,372千円
執行率				(参考) 当初予算額
				128,668千円
目的	集落排水事業を推進するとともに、施設の適正な維持管理を行うことで、公共用水域の水質保全と生活環境の改善を図る。			
主要な事務・事業及び成果の概要	平成23年度末にて全域供用開始した集落排水事業について、維持管理に努めるとともに、必要な管渠施設について整備を行った。			
	また、京都府の河川改修及び道路改良に伴う下水道管渠移設（補償工事）を行った。			
	一方で、施設の老朽化が進む中で、公共下水道も含めた処理場の集約化に向けた検討業務を行った（～H25年度）。			
	○処理施設管理費		65,841千円	
	処理施設9か所の維持管理経費			
○管渠管理費		24,441千円		
マンホールポンプ104基、管渠の維持管理経費				
○施設整備事業		276千円		
汚水処理基本構想検討業務委託（～H25年度）				
（公共下水道も含めた処理場の集約化に向けた検討業務）				
○管渠整備事業		20,671千円		
下水道管渠布設（溝谷・吉野、川上南部、砂方） 172m				
鳥取川河川改修及び市野々橋道路改良にともなう下水道管渠移設（府補償工事）				
公共汚水ます設置工事 3ヶ所				
水道補償工事一式				
主な財源	諸収入	下水道管移設工事補償金（京都府より）		7,184千円
	市債	農業集落排水事業債		11,300千円
評価・課題等	○集落排水施設の整備と維持管理により、公共用水域の水質保全と生活環境の改善が図られた。			
○平成23年度末の整備事業完了により集落排水下水道の普及率は100%となったが、老朽化施設の更新が課題である。公共下水道も含めた処理場の集約化に向けた検討を進め、より一層の効率的な事業運営を行っていく必要がある。				
○年度末における接続率は昨年度から若干向上したが（79.3%→81.6%）、今後も、佐濃南地区を中心に、更なる接続率の向上に努める必要がある。				
事業所管課	上下水道部／下水道整備課			

予算科目				公共下水道事業特別会計
事業名	公共下水道事業【明許繰越】			
総合計画	基本方針	Ⅵ うるおい安全都市	計画項目	⑥ 上下水道の整備
決算額	①	最終予算額	②	不用額
				(②-①)
201,797千円		226,400千円		24,603千円
			執行率	(参考) 当初予算額
			89.1 %	226,400千円
目的	公共下水道事業を推進するとともに、施設の適正な維持管理を行うことで、公共用水域の水質保全と生活環境の改善を図る。			
主要な事務・事業及び成果の概要	<p>○管渠管理費 9,483千円 久美浜1号幹線改築・修繕工事 150m</p> <p>○施設建設費 192,314千円</p> <p>[公共] 下水道管渠(網野) 3,212m</p> <p>[特環] 下水道管渠(大宮) 435m</p>			
主な財源	国補	社会資本整備総合交付金(1/2)		84,150千円
	市債	公共下水道事業債		102,800千円
	市債	特定環境下水道事業債		5,100千円
評価・課題等	<p>○下水道施設の整備と維持管理により、公共用水域の水質保全と生活環境の改善が図られた。</p> <p>○平成32年度の早期水洗化事業完了に向けて下水道整備を行っているところであり、平成24年度末における公共下水道区域内の普及率が、平成23年度末の68.1%から69.2%へと向上した。</p> <p>○接続率は48.7%と依然として低く、引き続き接続推進に努めていく必要がある。</p>			
事業所管課	上下水道部/下水道整備課			

予算科目				公共下水道事業特別会計
事業名	公共下水道事業			
総合計画	基本方針	Ⅵ うるおい安全都市	計画項目	⑥ 上下水道の整備
決算額	①	最終予算額	②	不用額 (②-①)
871,367千円		1,369,856千円		498,489千円
執行率				(参考) 当初予算額
			63.6 %	1,438,090千円
目的	公共下水道事業を推進するとともに、施設の適正な維持管理を行うことで、公共用水域の水質保全と生活環境の改善を図る。			
主要な事務・事業及び成果の概要	<p>○処理場管理費 205,653千円 処理場5か所の維持管理経費 (峰山・大宮、網野、橘、丹後、久美浜浄化センター)</p> <p>○ポンプ場管理費 30,229千円 ポンプ場7か所の維持管理経費 (峰山・大宮第1・3、久美浜第1・2・3・5・6汚水中継ポンプ場)</p> <p>○管渠管理費 48,740千円 マンホールポンプ128基の維持管理経費</p> <p>○施設建設費 586,745千円 [公共] 処理場(処理場の集約化に向けた検討業務、 峰山・大宮浄化センター監視制御装置改築にかかる実施設計・建設工事委託) 下水道管渠(峰山、網野) 2,219m、マンホールポンプ設置4基 水道補償工事一式 管渠測量・設計・土質調査業務(峰山、網野)</p> <p>[特環] 下水道管渠(大宮、橘、久美浜) 1,426m 水道補償工事一式 管渠測量・設計・土質調査業務(大宮)</p>			
主な財源	国補	社会資本整備総合交付金(1/2)		203,154千円
	市債	公共下水道事業債		255,200千円
	市債	特定環境下水道事業債		83,100千円
評価・課題等	<p>○下水道施設の整備と維持管理により、公共用水域の水質保全と生活環境の改善が図られた。</p> <p>○平成32年度の早期水洗化事業完了に向けて下水道整備を行っているところであり、平成24年度末における公共下水道区域内の普及率が、平成23年度末の68.1%から69.2%へと向上した。</p> <p>○接続率は48.7%と依然として低く、引き続き接続推進に努めていく必要がある。</p>			
事業所管課	上下水道部/下水道整備課			

予算科目	02施設費			浄化槽整備事業特別会計																
事業名	浄化槽整備事業																			
総合計画	基本方針	Ⅵ うるおい安全都市	計画項目	⑥ 上下水道の整備																
決算額	①	最終予算額	②	不用額 (②-①)																
156,709千円		156,801千円		92千円																
執行率				(参考) 当初予算額																
			99.9%	245,797千円																
目的	市設置浄化槽整備事業を推進するとともに、施設の適正な維持管理を行うことで、公共用水域の水質保全と生活環境の改善を図る。																			
主要な事務・事業及び成果の概要	<p>○浄化槽管理費 69,267 千円</p> <p>浄化槽修繕、ブローア-取替・修繕、汚水量認定用メーター設置工事等 7条検査手数料 85基分、11条検査手数料 763基分 浄化槽管理委託料、汚泥引抜委託料</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>町 域</th> <th>管理基数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>峰山</td> <td>106基</td> </tr> <tr> <td>大宮</td> <td>91基</td> </tr> <tr> <td>網野</td> <td>48基</td> </tr> <tr> <td>丹後</td> <td>159基</td> </tr> <tr> <td>弥栄</td> <td>54基</td> </tr> <tr> <td>久美浜</td> <td>438基</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>896基</td> </tr> </tbody> </table>				町 域	管理基数	峰山	106基	大宮	91基	網野	48基	丹後	159基	弥栄	54基	久美浜	438基	計	896基
	町 域	管理基数																		
	峰山	106基																		
大宮	91基																			
網野	48基																			
丹後	159基																			
弥栄	54基																			
久美浜	438基																			
計	896基																			
<p>○浄化槽設置費 87,442 千円</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>人 槽</th> <th>設置基数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>5人槽</td> <td>32基</td> </tr> <tr> <td>7人槽</td> <td>48基</td> </tr> <tr> <td>10人槽</td> <td>3基</td> </tr> <tr> <td>12人槽</td> <td>1基</td> </tr> <tr> <td>40人槽</td> <td>1基</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>85基</td> </tr> </tbody> </table>				人 槽	設置基数	5人槽	32基	7人槽	48基	10人槽	3基	12人槽	1基	40人槽	1基	計	85基			
人 槽	設置基数																			
5人槽	32基																			
7人槽	48基																			
10人槽	3基																			
12人槽	1基																			
40人槽	1基																			
計	85基																			
主な財源	国補	循環型社会形成推進交付金 (1/3)		25,135千円																
	市債	浄化槽整備事業債		61,500千円																
評価・課題等	<p>○浄化槽施設の整備と維持管理により、公共用水域の水質保全と生活環境の改善が図られた。</p> <p>○年度末の水洗化率が32.3%から33.0%へと向上したものの、集合処理区域の接続率に比べて低いことから、更なる浄化槽設置の推進に努めていく必要がある。</p> <p>○急な新築や改築などにより、やむを得ず自己資金にて浄化槽設置される事例がある。制度をより周知するための広報の方法について検討する必要がある。</p>																			
事業所管課	上下水道部/下水道整備課																			

予算科目	04衛生費	01保健衛生費	07環境衛生費	02浄化槽設置整備事業
細事業名	01 浄化槽設置整備事業			決算書 P.176
総合計画	基本方針	VI うるおい安全都市	計画項目	⑥ 上下水道の整備
決算額 ①		最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率 (参考) 当初予算額
4,708千円		4,764千円	56千円	98.8 % 8,671千円
目的	個人が設置する浄化槽設置整備事業に対して補助金を交付し、公共用水域の水質保全と生活環境の改善を図る。			
主要な事務・事業及び成果の概要	○浄化槽設置整備事業費補助金		4,615千円	
	浄化槽設置整備事業費補助金			
	人 槽	設置数	1基あたり補助額	補助総額
	5人槽	1基	352千円	352千円
	7人槽	7基	441千円	3,087千円
10人槽	2基	588千円	1,176千円	
計	10基		4,615千円	
	○京都府浄化槽推進協議会会費及び負担金		91千円	
	○京都府浄化槽推進協議会総会への出席にかかる普通旅費		2千円	
主な財源	国補	循環型社会形成推進交付金 (1/3)	1,606千円	
	府補	浄化槽設置整備事業費補助金 (1/3)	1,538千円	
評価・課題等	<p>○集合処理施設が未整備な区域において、個人が設置する浄化槽設置整備事業に対して補助金を交付したことで、公共用水域の水質保全と生活環境の改善が図れた。</p> <p>○公共用水域の水質保全と生活環境の一層の改善のためには、公共下水道事業の更なる整備を進め、集合処理施設未整備区域を早期に縮小する必要がある。</p>			
事業所管課		上下水道部/下水道整備課		